

第2次宍粟市総合計画後期基本計画・第2次総合戦略用語解説集(基本施策14、23-24、26)

基本 施策	用語	解説
14	SDGs	Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)の略。平成27(2015)年9月の国連サミットで採択された「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現のための令和12(2030)年を年限とする17の国際目標とそれらを達成するための具体的な169のターゲット。
14	エシカル消費	地域の活性化や雇用などを含む、人・社会・地域・環境に配慮した消費行動。
14	エシカル・ラボ	エシカル消費の意味や意義を広く国民に周知するためのシンポジウム。
14	エンディングノート	人生の最終章を迎えるにあたり、自身の死後や病気・老化により意思を伝えられなくなったときに備え、家族や周囲へ自身の希望や伝えるべきことを書き留めておくノート。
14	消費者市民社会	消費者一人ひとりが、自分だけでなく周りの人々や将来生まれる人々の状況、社会、経済、環境などに与える影響を考えて商品・サービスを選ぶなど、公正で持続可能な発展に貢献する消費行動をとることができる社会。
14	消費者ホットライン188	最寄りの消費生活センター等につながる全国共通の電話番号。
23	移動図書館	書籍と職員を載せた自動車などを利用して図書館を利用しにくい地域の人のために各地を巡回して図書館のサービスを提供する仕組み。
23	SNS	Social Networking Serviceの略。FacebookやLINEなどインターネットを通じて人と人をつなげるサービス。
23	市民大学	18歳以上の市民が参加受講できる市内で開かれる講座や教室。
23	デイジー図書	Digital Accessible Information Systemの略で、視覚障がいなどで活字の読みが困難な人のために製作されるデジタル図書。
23	ブックスタート	乳幼児健診などで絵本を開く体験や、赤ちゃんに絵本を手渡す活動。

第2次宍粟市総合計画後期基本計画・第2次総合戦略用語解説集(基本施策14、23-24、26)

基本 施策	用語	解説
23	レファレンス業務	図書館利用者が学習・研究・調査を目的として必要な情報・資料などを求めた際、図書館員が情報あるいはそのために必要とされる資料を検索・提供・回答する業務。
24	岩塊流	山腹や山腹を刻む谷内にみられる舌状をした巨大な岩塊の集り。岩氷河、岩の川とも言う。
24	国際交流協会	地域に暮らす在日外国人と日本人の交流のために設立された組織。
24	指定文化財	文化財保護法、文化財保護条例などにより規定された文化財。有形文化財、無形文化財、民族文化財、史跡、名勝、天然記念物、伝統的建物群のうち、とくに重要なもので保存の必要のあるものを指定し保護と活用が図られているもの。
24	たたら製鉄	日本の古代から近世にかけて発展した製鉄法で、炉に空気を送り込むのに使われる鞆(ふいご)が「たたら」と呼ばれていたために付けられた名称。
24	出前講座	市民の学習意欲に応え、市の職員が市の取組等について、地域に出向いて説明する事業。
24	播磨国風土記	奈良時代初期に編纂された播磨国(兵庫県)に関する古代の地誌。
24	未指定文化財	文化財としての価値が高くても、研究や鑑定がされていないもの、存在すら知られておらず、指定文化財となっていないもの。
26	DV	ドメスティックバイオレンスの略で、配偶者や恋人等、親しい人間関係にある、又はあった者からの暴力のことをいう。殴る、蹴るといった身体的なものだけでなく、精神的・性的なものなど、様々な形で身近に存在する。
26	ワークショップ	講師の話に参加者が一方的に聞くのではなく、参加者自身が討論したり、体を使って体験したりするなど、参加体験型、双方向性のグループワークの手法。